

到達目標	評価				
	S	A	B	C	D
設定した課題を多面的に考察するために、適切な複数のデータを適切な箇所に引用することができる。(A-3)	適切な複数のデータを適切な箇所に正しく引用することができる。	適切な複数のデータを適切な箇所に引用しているが、引用方法等の作法に修正の余地がある。	適切な複数のデータを引用しているが、引用箇所や引用方法等の作法に修正の余地がある。	適切なデータを引用しているが、同一出典が多く、引用箇所や引用方法等に修正の余地がある。	適切なデータを選定することができず、複数のデータを適切な箇所に引用する方法を理解していない。
設定した課題を解決するための筋道を論理的に説明することができる。(A-3)	課題解決に対する妥当な筋道を論理的に説明できる。	おおよそ課題に対する妥当な筋道を論理的に説明できる。	おおよそ課題解決に対する筋道を説明することはできるが、その妥当性、論理性の一方に不十分な点が見られる。	課題解決に対する筋道を説明することはできるが、その妥当性、論理性の両方に不十分な点が見られる。	課題解決に対する筋道を説明することが困難、もしくはその説明が著しく妥当性、論理性を欠く。
設定した課題を解決するために必要となる情報収集や分析を指定された期限までに行い、成果をまとめることができるマネジメント力を身に着けている。(A-3)	課題解決に必要な情報収集、分析を過不足なく行い、期限までに成果を提出することができる。	課題に必要な情報収集、分析を行い、期限までに成果を提出することができる。	多少の不足や不備があるものの、課題に必要な情報収集、分析を行い、期日までに成果を提出することができる。	教員の指示に従い、情報収集の不足や分析の誤りに修正を加える必要はあるものの、指定された期日までに成果を提出することができる。	課題解決に必要な情報収集方法、分析方法を理解しておらず、期日までに成果をまとめることができない。
受講生同士で共通テーマについて話し合い、またその結果をまとめたものを発表することを通して、他者の視点を理解し、新たな着想、気づきを得る。(A-3)	積極的な意見交換によって、他者の視点を理解し、自らの改善点に気づいて論文の修正や発展につなげることができる。	積極的な意見交換によって、他者の視点を理解し、自らの改善点に気づいて修正を加えようとする姿勢が見られる。	意見交換によって、他者の視点を理解し、自らの視点との違いに気づいたり、新たな着想を得ることができる。	意見交換によって、他者の視点を理解し、自分の視点に足りなかった点に気づくことができる。	意見交換に積極的に参加する姿勢がみられず、他者からの評価を執筆にいかすことが極めて困難である。